

機械器具 16 体温計
管理医療機器 皮膚赤外線体温計 17888000

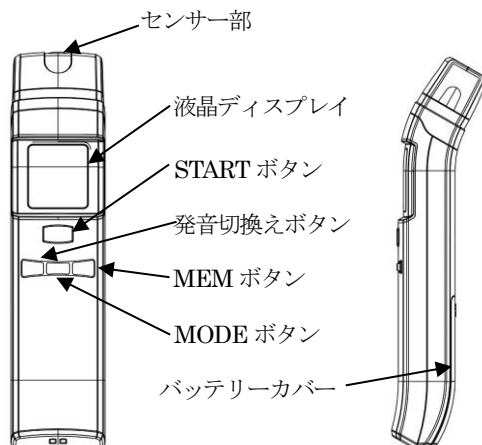
ヒュービディック非接触赤外線体温計

【禁忌・禁止】

- ・本製品を水その他の液体に浸さないこと。
- ・落としたり強い衝撃を与えると故障の原因となります。
- ・本体の先端に異物を挿入しないこと。故障の原因となります。
- ・使用する前に取扱説明書をよく読むこと。
- ・補正温度表示(Body temperature モード)は本品の副次的機能であり必ずしも舌下体温と一致するとは限らない。
- ・-20℃以下や 50℃以上、また 95%RH を超える環境下で保管しないこと。
- ・15℃以下や 40℃以上、また 95%RH を超える環境下で使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 各部の名称



2. 本体の寸法及び質量

- ・外形寸法：152 (縦) × 36 (横) × 37 (厚さ) mm
- ・質量：68g (電池を含まず)

3. 機能

- ・Object temperature モードによる温度測定：皮膚上のある部位の温度を測定表示する。
- ・Body temperature モードによる体温測定：測定したこめかみ部の温度を体温 (舌下温) に補正して表示する。
- ・メモリ機能：Body temperature モードで測定した直近 32 件のデータを保存する。

4. 電氣的定格

- ・電源電圧：DC3V (単 4 乾電池 2 本)
- ・電撃に対する保護の形式による分類：内部電源機器
- ・電撃に対する保護の程度による分類：B 形装着部
- ・防塵防水保護等級：IPX0
- ・本品は EMC 規格 IEC 60601-1-2 に適合している

5. 原理

本品は、体表面の温度を非接触的に測定し、測定した温度を表

示する皮膚赤外線体温計である。

人体の体表面からは赤外線が放射されている。本品は、熱型赤外線センサーであるサーモパイルでこの赤外線をとらえて体表面温度に変換し、表示する装置である。

主たる機能である Object temperature モードは、皮膚上のある部位を測定し、実測温度を表示する。

副次的な機能である Body temperature モードは、こめかみ部を測定部位とし、測定した同部位の温度及び外気温から体温 (舌下温) を導き出して表示する。

6. 仕様に係る事項

- ・表示温度範囲：15℃～60℃ (Object temperature mode)
34℃～42.5℃ (Body temperature mode)
- ・周囲環境：15℃～40℃
- ・最小表示単位：0.1℃
- ・最大許容誤差：±0.3℃ (Body temperature 34℃～42.5℃)
±1.0℃ (Object temperature 15℃～21.9℃)
±0.3℃ (Object temperature 22℃～42.5℃)
±1.0℃ (Object temperature 42.6℃～60℃)

【使用目的又は効果】

体表面上の皮膚の体温を測定するために用いること。

【使用方法等】

1. 使用準備

- ・15～40℃の使用環境であることを確認します。そうでない場合は、15～40℃の環境下で 30 分以上置いてから使用します。
- ・電源を投入した際、バッテリー残量少のエラー表示がされた場合は、以下の手順で新しいバッテリーに交換します。
 - 1) 本体背部のバッテリーカバーをスライドさせ、開けます。
 - 2) 使用済みのバッテリーを取り出し、新しいバッテリーに交換します。この時、バッテリーの極性を確認します。
 - 3) 電池のカバーを閉じます。

2. 使用中の操作

<実測温度 (Object temperature) による測定>

- ・本品の START または MODE ボタンを短く押して、電源を投入します。
- ・液晶ディスプレイで、測定準備状態であることを確認します。
- ・皮膚上のある部位から 2～3cm 離れたところで固定し、START ボタンを短く押します。測定完了音が聞こえるまで、距離を維持します。ミュートモードの場合は、約 2 秒間その位置を維持します。
- ・画面上の温度を読み取ります。Object temperature による測定結果はメモリに保存されません。

<補正温度 (Body temperature) による測定>

- ・MODE ボタンを短く押して、Body temperature 及び Object temperature 間の測定モードを切替えます。
- ・液晶ディスプレイで、測定準備状態であることを確認します。
- ・こめかみ部から 2～3cm 離れたところで固定し、START ボタンを短く押します。測定完了音が聞こえるまで、距離を維持します。ミュートモードの場合は、約 2 秒間その位置を維持します。

取扱い説明書を必ずご参照ください

- ・液晶ディスプレイで測定した温度をチェックします。測定結果は自動的に保存されます。
- ・正常な測定結果では緑色のバックライトが表示されます。以下の正常でない場合は、赤色のバックライト及びエラーメッセージが表示されます。バックライトは 2,3 秒後に自動的に消えます。
- ・測定結果が測定温度範囲外であるとき (Hi または Lo を表示)
- ・周囲温度が周囲環境外であるとき (Err を表示)

＜メモリチェック＞

- ・MEM ボタンを短く押して、メモリ域を参照します。
- ・データは直近のデータ(1)から、以前のデータ(2～32)の順に保存されます。
- ・MEM ボタンを押すと、カウントを続け、保存順に表示されます。
- ・本品は 30 秒後に Object temperature モードに切替ります。
- ・Body temperature による測定結果のみ、メモリに保存されます。

＜音発生切替え＞

- ・発音切替えボタンを短く押して、発音／ミュートモードを切替えます。デフォルトは、発音モードです。

3. 使用後の処置

- ・本品は使用後 1 分で自動的に電源が切れます。特に操作の必要はありません。

【使用上の注意】

- ・小児や乳児を測定する場合はしっかりと抱き、動かないようにしてください。動くことによって測定結果に精度を欠く場合があります。
- ・測定は温度が安定した屋内で行ってください。同様に被測定者も安定した温度で、十分に慣らしてください。
- ・室内でも扇風機、温風機、エアコンなどの空気の流動を起こす機器が作動している部屋では、測定の結果に精度を欠く場合があります。
- ・発汗した状態、運動の後、雨天時、帰宅直後、シャワーの後等では、測定の結果に精度を欠く場合があります。
- ・正確な測定のために、髪、化粧、異物等は取り除いてください。
- ・こめかみ部で測定を行ってください。測定部位によって表示温度は異なります。
- ・バッテリー残量が少ない場合は、測定の結果に精度を欠く場合があります。新しいバッテリーに交換し、再度測定を行ってください。
- ・使用する環境が 15～40℃でない場合は、15～40℃の環境下で 30 分以上置いてから使用してください。
- ・授乳中または授乳直後は、測定を行わないでください。
- ・過度に湿度が高い環境下では、使用しないでください。
- ・破損又は故障した場合には使用を中止し、販売店等を通じて修理依頼をしてください。
- ・改造及び修理はしないでください。本品の修理は認定を受けた技術スタッフに限られます。また改造による破損や故障は保証対象外となります。
- ・長期間使用しない場合は、電池を取外し、本品を安全な場所で保管してください。取り外した電池は、分別しまとめてください。
- ・本品のセンサー部は傷つき易いため、汚れや傷の無い状態を維持してください。

【保管方法及び有効期間等】

- ・直射日光を避け、乾燥した清潔な場所で保管してください。

【保守・点検に係る事項】

- ・メチルアルコールを含ませた綿棒で、センサー部の表面を注意深く清掃してください。
- ・修理が必要な場合は、販売代理店又は株式会社 WEWELL にご連絡ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

*製造販売業者：ヒュービディックジャパン株式会社
東京都八王子市北野町 507 番 6 号
電話：042-649-1920

製造業者：HuBDIC Co., Ltd (大韓民国)